

会長	副会長	副会長	専務理事	担当理事	係

事務連絡
令和4年9月8日

岡山県アレルギー疾患医療連絡協議会委員 様

岡山県保健福祉部健康推進課健康づくり班

小児アレルギー疾患に関する研修会の周知依頼について

本県の保健福祉行政の推進につきましては、平素から格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、NPO法人アレルギーを考える母の会より、別添のとおり研修会の広報の依頼がありました。

貴職におかれましては、趣旨をご理解いただき、関係団体等への周知をお願いいたします。

(問合せ先)

岡山県 保健福祉部 健康推進課
健康づくり班 中野、青井

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

TEL:086-226-7328 FAX:086-225-7283

E-mail:naomi_aoi@pref.okayama.lg.jp





令和4年8月吉日

道府県アレルギー疾患対策担当者様

小児アレルギー疾患に関する研修会の広報のお願い（依頼）

NPO 法人アレルギーを考える母の会

代表 園部まり子

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

アレルギーの子どもたちが増え続け、学校や保育所など子どもの居場所での対応、発症予防も視野に入れた乳幼児期の保健指導の充実等が今年3月に改正された厚生労働省の「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針」の中にうたわれ推進が求められています。

NPO 法人アレルギーを考える母の会は、これまでも厚生労働省や文部科学省、日本小児アレルギー学会などと連携しながら、自治体の取り組みを後押しする活動を続けてきました。令和4年度は添付のチラシのように、全国から自治体の専門職が参加できる無料のオンライン研修会、「小児アレルギー疾患の『保健指導』を充実させる研修会」（後援：厚生労働省、（独）福祉医療機構 社会福祉振興助成事業）と、「食物アレルギーの最新知識と緊急時対応の研修会（学校・保育所、救急隊向け）」（後援：文部科学省・厚生労働省・総務省消防庁、（公財）ニッポンハム食の未来財団助成事業）を企画しました。講師はいずれも国の対策推進の中心を担い、かつ臨床の第一線で活躍している先生方をお願いしました。昨年度も同様の研修会を行ったところ、日ごろ参加することが難しい遠隔地や離島などからも多数参加されるなど大変にご好評をいただきました。

今年度についてもこの機会を活用していただけたら幸いです。つきましては、大変にお忙しいところ庁内の部局を超えたお願いとはなりますが、道府県内の市町村の主に母子保健および保育の担当、教育委員会、消防部局にお知らせ、ご案内いただきますようお願い申し上げます。多くの方のご参加をお待ちしております。

何卒よろしくようお願い申し上げます。

* 2種のチラシについては、11月19日（土）まで下記のサイト（ギガファイル便）からダウンロードすることができます。ご活用ください

（ギガファイル便） <https://xgf.nu/tHBk>

【問い合わせ先】

代表：園部まり子

電話：090-3220-4425

「母の会」HP (<http://hahanokai.org/>)

「お問い合わせはこちら」へ

NPO 法人アレルギーを考える母の会主催 **オンライン** 研修会

(後援：文部科学省、厚生労働省、総務省消防庁)

食物アレルギーの最新知識と緊急時対応の 研修会 (学校・保育所、救急隊向け)

募集要項 (令和4年度)

本事業は (公財) ニッポンハム食の未来財団の助成を受けて実施します

食物アレルギーの子どもたちが希望を持って安心して暮らせるためには、正しい診断に基づく医学的に適切な対応と、家庭だけでなく学校や保育所など居場所での理解と適切な支援が必要です。学校では「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」(平成20年、令和元年度改訂)、「学校給食における食物アレルギー対応指針」(平成27年3月)、保育所では「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」(平成23年、平成31年度改訂)などに基づく支援が求められます。また緊急時の「エピペン」®投与では、時に救急救命士の積極的な関わりも求められます。本研修会では、食物アレルギーの最新知識と緊急時対応について理解を深め、学校や保育所、救急の現場などでの食物アレルギー対応の充実を図ります。

* 本研修会はオンライン会議ツール (Zoom) を 使用して行います

(インターネットを利用できるPC、スマートフォンで参加できます)



【第1回】令和4年12月23日(金) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：学校・保育所での食物アレルギー対応と緊急時への備え (第4回と同じ内容)

○講師：昭和大学医学部小児科学講座教授 今井孝成先生

【第2回】令和5年1月12日(木) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：食物アレルギー治療の最新知識と、適切な「エピペン」®投与

○講師：国立病院機構相模原病院臨床研究センター長、日本アレルギー学会理事長 海老澤元宏先生

【第3回】令和5年1月17日(火) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：小児アレルギー疾患の正しい病態理解と適切な対応

○講師：国立成育医療研究センターアレルギーセンター・総合アレルギー科医長 福家辰樹先生

【第4回】令和5年2月10日(金) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：学校・保育所での食物アレルギー対応と緊急時への備え (第1回と同じ内容)

○講師：昭和大学医学部小児科学講座教授 今井孝成先生

【定員】各回1000人

【参加費】無料

(裏面に申し込み方法と講師の略歴)

【申込方法】 各回ごとに下記 URL、または QR コードにアクセスし、送信して下さい

○申込 URL 第 1 回 (12 月 23 日) <https://forms.gle/HY3mLkRnYXu1mk1z5>
第 2 回 (1 月 12 日) <https://forms.gle/f6UiqWtAJDfANB476>
第 3 回 (1 月 17 日) <https://forms.gle/HGEJxxUHhh3vuFLMA>
第 4 回 (2 月 10 日) <https://forms.gle/YskzU1txGDQV5g3CA>



(第 1 回)



(第 2 回)



(第 3 回)



(第 4 回)

(お願い) 「QR コード」を読み込む際には、申し込む回以外の「QR コード」が見えないようにしてください。誤って他のコードを読み込んでしまう可能性があります。お申込みが難しい場合は、下記の問い合わせ先までメールご連絡ください

【申込期間】 令和 4 年 9 月 1 日 (木) から、各回開催日の 10 日前まで

- * 締め切り日の前に定員に達した場合は、その段階で受付を締め切ります
- * 開催 1 週間前に当日の参加 URL と講演資料をダウンロードできるサイトの URL をメールで送信します
5 日前までにメールが届いていない場合は、下記の「母の会」HP「お問い合わせはこちら」からご連絡ください
- * アクセスできる数に限りがあるため、1 参加 URL につき使用できる端末は 1 台に限ります
- * 研修内容の録音・録画・画面撮影、講演資料の 2 次使用、参加 URL の他人への譲渡はできません。適切な管理をお願いいたします。いただいた個人情報は適切に管理し本研修会でのみ利用いたします

【問い合わせ】 「母の会」HP (<http://hahanokai.org/>) 「お問い合わせはこちら」

【講師の紹介】

○海老澤元宏先生：国立病院機構相模原病院臨床研究センター長、日本アレルギー学会理事長、厚生労働省アレルギー疾患対策推進協議会会長。東京慈恵会医科大学卒。日本における食物アレルギー対策の推進で常に中心的な役割を担い、救急救命士の「エピペン」®投与を可能にした厚生労働科学研究でも重要な役割を果たした。



海老澤元宏先生

○今井孝成先生：昭和大学医学部小児科学講座教授、日本アレルギー学会指導医。東京慈恵会医科大学卒。アレルギーの国の中心拠点施設、国立病院機構相模原病院小児科医長などを経て現職。「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」の作成と改訂で中心的な役割を果たした。



今井孝成先生

○福家辰樹先生：国立成育医療研究センターアレルギーセンター・総合アレルギー科医長、日本アレルギー学会指導医。浜松医科大学卒、同大講師などを経て現職。日本小児アレルギー学会小児気管支喘息治療・管理ガイドライン委員、食物アレルギー診療ガイドライン 2016/2021 執筆協力者などを務める。



福家辰樹先生

(NPO 法人アレルギーを考える母の会)

平成 11 年に横浜市で発足。アレルギー患者を適切な医療（標準治療）につなぎ健康回復を図る相談活動（年間約 400 人）を中心に、患者も賢く適切な医療を知る学習懇談会・講演会活動、相談から浮かぶ社会的な課題の解決を国や自治体、関連学会などに建設的に働きかける活動、また相次ぐ災害の被災地でも活動を継続している。厚生労働省や文部科学省などとの連携の中で厚生労働省「アレルギー疾患対策推進協議会」（平成 27 年 12 月～）などの委員も務める。

 NPO 法人アレルギーを考える母の会主催 **オンライン** 研修会

(後援：厚生労働省)

小児アレルギー疾患の「保健指導」を充実させる研修会

募集要項 (令和4年度)

(独) 福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

小児アレルギー疾患の発症予防や子どもたちの健やかな成長に資する乳幼児期の「保健指導」の重要性が指摘されています。令和4年3月に改正された厚生労働省の「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針」においても、従来の「重症化予防」に加え「発症予防」の視点を重視した取り組みの推進が強調されました。本研修会では、アレルギー疾患対策の国の中心拠点施設の専門医などを講師に迎え、アレルギーの発症予防が期待される適切なスキンケアや離乳支援を含めた小児アレルギーの最新知識と適切な対応、母子保健事業の中でどう「保健指導」を展開するかなどについて具体的、実践的に学びます。

主な参加対象は、保健師、管理栄養士、栄養士、助産師、医師、看護師、行政職員です。

* 本研修会はオンライン会議ツール (Zoom) を使用して行います

(インターネットを利用できる PC、スマートフォンで参加できます)



日程 (ひとりの講師が2回ずつ行う研修会は同じ内容です)

【第1回】令和4年12月6日(火) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：小児アレルギーの最新知識と適切な対応

○講師：福家辰樹先生 (国立成育医療研究センターアレルギーセンター・総合アレルギー科医長)

【第2回】令和4年12月15日(木) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：アレルギーの「保健指導」と母子保健事業における具体的な展開

○講師：古川真弓先生 (さいわいこどもクリニック、前東京都立小児総合医療センターアレルギー科)

【第3回】令和5年1月24日(火) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：小児アレルギーの最新知識と適切な対応

○講師：福家辰樹先生 (国立成育医療研究センターアレルギーセンター・総合アレルギー科医長)

【第4回】令和5年2月9日(木) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：アレルギーの「保健指導」と母子保健事業における具体的な展開

○講師：古川真弓先生 (さいわいこどもクリニック、前東京都立小児総合医療センターアレルギー科)

【定員】各回 1000 人

【参加費】無料

(裏面に申し込み方法と講師の略歴)

(申し込み)

【申込方法】 各回ごとに、下記 URL、または QR コードにアクセスし、送信して下さい

- 申込 URL 第 1 回 (12 月 6 日) <https://forms.gle/XiDKL65XFDEAjLeV7>
第 2 回 (12 月 15 日) <https://forms.gle/4mrLeEEAMsTfncye9>
第 3 回 (1 月 24 日) <https://forms.gle/dpzXjcLo8xcLqryB6>
第 4 回 (2 月 9 日) <https://forms.gle/NTF3nTvL5EedX7XL8>



(第 1 回)



(第 2 回)



(第 3 回)



(第 4 回)

(お願い) 「QR コード」を読み込む際には、申し込み回以外の「QR コード」が見えないようにしてください。誤って他のコードを読み込んでしまう可能性があります。お申し込みが難しい場合は、下記の問い合わせ先までメールご連絡ください

【申込期間】 令和 4 年 9 月 1 日 (木) から、各回開催日の 10 日前まで

- * 締め切り日の前に定員に達した場合は、その段階で受付を締め切ります
- * 開催 1 週間前に当日の参加 URL と講演資料をダウンロードできるサイトの URL をメールで送信します。
5 日前までにメールが届いていない場合は、下記の「母の会」HP「お問い合わせはこちら」からご連絡ください
- * アクセスできる数に限りがあるため、1 参加 URL につき使用できる端末は 1 台に限ります
- * 研修内容の録音・録画・画面撮影、講演資料の 2 次使用、参加 URL の他人への譲渡はできません。適切な管理をお願いいたします。いただいたメールアドレスなど個人情報は本研修会でのみ利用いたします

【問い合わせ】 「母の会」HP (<http://hahanokai.org/>) 「お問い合わせはこちら」へ

【講師の紹介】

○福家辰樹先生：アレルギー疾患の国の中心拠点施設、国立成育医療研究センターアレルギーセンター・総合アレルギー科医長、医学博士、日本小児科学会指導医、日本アレルギー学会指導医。浜松医科大学卒、同大学講師などを経て現職。「小児のアレルギー疾患 保健指導の手引き」(厚生労働科学特別研究班)分担執筆者、日本小児アレルギー学会小児気管支喘息治療・管理ガイドライン委員、食物アレルギー診療ガイドライン 2016/2021 執筆協力者などを務める。



福家辰樹先生

○古川真弓先生：さいわいこどもクリニック (東京・立川市) 医師。獨協医科大学卒、国立成育医療研究センター総合診療部、東京都立小児総合医療センターアレルギー科などを経て現職。日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医。「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」(東京都) を作成、「小児のアレルギー疾患 保健指導の手引き」(厚生労働科学特別研究班)などを分担執筆した。都内の自治体の保健センターで、現場の保健師などとともに実際の保健指導にも携わる。



古川真弓先生

(NPO 法人アレルギーを考える母の会)

平成 11 年に横浜市で発足。アレルギー患者を適切な医療 (標準治療) につなぎ健康回復を図る相談活動 (年間約 400 人) を中心に、患者も賢く適切な医療を知る学習懇談会・講演会活動、相談から浮かぶ社会的な課題の解決を国や自治体、関連学会などに建設的に働きかける活動、また相次ぐ災害の被災地でも活動を継続している。厚生労働省や文部科学省などの連携の中で、厚生労働省「アレルギー疾患対策推進協議会」(平成 27 年 12 月～) などの委員も務める。第 69 回「保健文化賞」(主催：第一生命保険、後援：厚生労働省等、平成 29 年度) などを受賞している。